

2012年2月7日開催 第565回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員(書面) 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役
藪内チーフ・プロデューサー 竹園プロデューサー 立野コンプライアンス室長

- ◆ 新春ドラマ特別企画「花嫁の父」(2012年1月8日(日)21:00～23:03放送)について審議した。

各委員の主な意見は次の通り。

- *特に感動したのは、雪の描き方が非常に上手で、真冬の山村の家という雰囲気がよく出ていた。
- *耳が聞こえない主人公の設定で、せりふが少なく、余計に映像の美しさと、音楽のよさが引き立った。
- *言葉が口から発しない分、字幕が出たり、余計に心に言葉が残った。スタッフの納得のいくように、やることは全部やろうという意気込みがきちんと届いた。
- *続編を見てみたいなというふうに、想像が膨らむほど余韻を引く番組。
- *ドラマ脚本とノベライズとの差だと思っていたが、話を聞いて、脚本では書き足りないところがあったのかと感じた。
- *登場人物が愛情と誠実さにあふれ、それが全編に流れている。「花嫁の父」という題だけで、泣くドラマは見たくないと敬遠する方も正直いるのかもしれない。
- *聾啞ということで同情心がわきがちだが、それを極力控え目にして、押し付けがましくなく、じめじめもしていない。この先どう展開していくのかと楽しみながら見られた。
- *設定はかなり特殊だが、山古志と東京の下町の組み合わせが楽しく、二つの家族がどちらも良い人ばかりで、安心して見られた。

以上